



わたぼうし
 広報誌 第162号
 2018年 3月
 発行責任者 岡野 公代

花粉症でお悩みの方にとっては辛い季節ですが、桜やチューリップなど色とりどりのお花がたくさん咲き、外の景色も明るくなり外出の機会が多くなる春となりました。「花冷え」という言葉があるように、桜の咲くころはまた寒さが戻ってきますので十分服装にお気をつけて、是非庭先に出て春を見つけてみてはいかがでしょうか♪

3月の活動

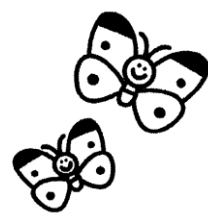
わたぼうし横の
 彼岸桜が満開です♪



3月3日のひな祭り。岡山では旧暦の4月3日まで飾っても良いとのこと♪

月見草句会

八十路の真つ只中や蝶と会う	O・K様
紋白蝶けふ一日を舞いにくる	F・T様
グツグツと鍋のつぶやく蝶の昼	O・K様
上りゆく蝶に青空果てしなし	Y・J様
迎え待つ幼児にちようちよ舞いやまず	T・A様





バレンタインレク ～チョコレートフォンデュを作って食べよう～

2月といえば…？一番に思いつくのは節分でしょうか？

わたぼうしでも毎年節分にちなんだ活動を取り入れてレクを行っていましたが、今年は趣向を変えて《バレンタイン》をテーマに調理レクに挑戦。バレンタインに欠かせないものと言えば、やはりチョコレート！ということで“チョコレートフォンデュ”と“ホットチョコ牛乳”でチョコレート尽くしのメニューを利用者さんと一緒に作って楽しむ計画を立てました。

“チョコレートフォンデュ”というのは牛乳や生クリームを加え加熱して溶かしたチョコレートにマシュマロや果物、パン等をつけて食べる料理で「フォンデュ」というのはフランス語の「溶かす」が語源だそうです。

料理の名前を聞いたことはあっても、食べたことがある人ましてや自分で作ったことのある人は、利用者さんだけでなくスタッフにもおらず初めての試みだったのですが、8～9人ずつ2グループに分かれて、いざ調理が始まるとチョコレートを割って溶かす人、バナナを切ってマシュマロと一緒に皿に盛る人、チョコの上にカラースプレーを散らす人などそれぞれに役割を取っていただいていたという間におしゃれな“チョコレートフォンデュ”が出来ました。

当初の予定では2グループ揃って食べ始めるはずだったのですが、先にできたグループのチョコレートが固まり始めてしまったため先に食べ始めることになるという小さなハプニングもありましたが、ちょうど見学に来られた医学生の方にも試食をしていただきながら一緒に過ごしていただくことが出来ました。最後、チョコレートが残ったカップに温かい牛乳を注ぐとホットチョコレート牛乳の出来上がり。最後の最後まで美味しいレクとなりました。

